

社協だより

編集
発行



社会福祉法人 名取市社会福祉協議会

名取市増田字柳田80
市役所西棟1階
TEL 384 - 6669

介護の仲間で「いっぴく」中!!



★家族介護者のつどい「いっぴく堂」開催時の様子。
(詳しくは2ページをご覧ください)

「地域の支えあひ」



社会福祉法人

名取市社会福祉協議会

会長 佐々木 秀典

わが国は、現在急速に高齢化社会が進行しており、社会保障制度の在り方が大きな課題となっております。

また、地域においては収入の減少や失業などによる貧困、孤立死、虐待、消費者被害等々、従来の制度だけでは解決しづらい深刻な福祉課題・生活課題が噴出してあります。

この様な状況にあつて、誰もが住み慣れた地域で「安心して安全に暮らせる」ことを願つており、福祉の充実に對する期待が高まっております。

しかし、福祉はこれまでの制度だけに依存できる社会ではなくなつていくことも現実であり、地域の「コミュニティ」の推進や福祉関係者のネットワークづくりなど、地域における「新たな支えあい」(共助)の確立が求められております。

社会福祉協議会にとりましてもの様な時代の変化を的確にとらえ、地域福祉推進役としての専門性の向上や地域福祉ネットワークづくりの支援に取り組み、心豊かな安らぎのある地域社会づくりに尽力して参ります。

認知症高齢者等を支える家族のつどい

いっぷく堂



社会福祉協議会では日頃家族の介護を行っている方を対象に『いっぷく堂』を開催しています。9月から3月まで全10回シリーズで開催している『いっぷく堂』も残すところあと1回となりました。

介護者の仲間づくりとリフレッシュを目的に開催した事業ですが、回を増すごとに参加者同士のおしゃべりも盛り上がり、和気あいあいとした雰囲気の中、皆さん楽しい時間を過ごしています。そんな『いっぷく堂』の様子を写真と参加者の感想で紹介いたします。



▶グループホームに施設見学でお邪魔しました。

参加者の声



イメージキャラクター
いっぷく君

★『いっぷく堂』に来ると元気になる。『いっぷく堂』と出会って良かった。

★介護の中であった出来事を皆に話すだけで気分転換になる。私たちのストレス解消は『いっぷく堂』です！



▲ミニ講座では福祉用具の活用についても学びました



▲『いっぷく堂』最大の目的は介護者同士のつながりをつくる事。ここで知り合った仲間は介護を続ける中で大きな力になります。



～『いっぷく堂』の由来～

日頃の介護の疲れを皆でお茶飲みばなしをし、「ひと息つきましょう」という意味を含め、さらに「大勢の人が集まる場所」という意味の【堂】をつけ『いっぷく堂』と名付けました。

災害VCを活かす地域の力

災害ボランティアセンターに関する研修会

に関する研修会

社会福祉協議会では、大規模災害が発生した際、災害ボランティアセンター(以下災害VC)の運営を行います。

災害VCは、被災住民の皆さんの困っている事・助けてほしい事(ニーズ)に対し、ボランティアの派遣を行いながら、被災住民の生活復興を目指すセンターです。

この災害VCの機能について、地域の皆さんに知っていただこうと12月15日、1月17日の2回「災害VCに関する研修会」を開催しました。



▲災害VCの様子を映像や写真を使い説明しました。こうした研修会をとおり、社会福祉協議会と地域の皆さんとのつながりを強め、災害VCを有効に活用いただける関係づくりを目指しています。

▼説明は名取市社協の職員が行いました。各地区への出張研修も行います。ぜひお声掛けください。



名取市内の町内会・自治会等を対象に開催した研修会でしたが合計で76名の方にご参加いただき、災害VCのしくみについて、さらにはその機能を活かす為の地域力の必要性について研修を行いました。

参加者の方のアンケートでは「今回の様な研修会の回数を増やしてほしい」と言ったご要望や「地域としてやるべきことが理解できた」など、前向きな感想が多く寄せられました。

今回の開催により、市内の約半数の町内会・自治会が災害VCに関する研修会へご参加いただいた事になります。残り半数の町内会や新しく役員となった方々にも災害VCの役割を知っていただける様、今後もこの研修会を開催してまいります。

災害時の被害を抑える為に日頃からの防災が大切な事と同様に、災害VC

を有効的に運営する為にも準備が必要です。それは災害VCを知っていただく為の研修会や訓練、しくみの確認や整理、資機材の準備など多岐にわたります。そういった準備の一環として、名取市社協では周辺の市町村社協と協定を結び、いざという時の為、職員派遣などの協力体制を整えています(詳しい活動状況は名取市社協ホームページをご覧ください)。

災害VCだけでは地域の復興を果たす事は困難です。住民の皆さんや自治会・町内会などの地域力、ボランティアや近隣市町村社協の協力、そういった多くの力が必要になります。

災害に負けない地域づくりには、この様な様々な力、協力をひとつにまとめる関係づくりが大切です。

社会福祉協議会は、今後も災害に備えた体制整備に取り組んでまいります。



▲2月に行われた災害ボランティアシンポジウムの様子。県内では災害VC等について様々な研修会が開催されています。詳しくは名取市社協へお問合せ下さい。

名取市友愛作業所

～地域とのつながりを感じながら～



名取市社会福祉協議会が運営を行っている友愛作業所は、精神障がいのある方が共同での作業体験を通して社会復帰を目指した訓練を行う施設です。

作業体験の内容には企業から仕事を頂く受託作業とお菓子製造などの自主製品作業があります。これらの作業は施設の中で行われますが、施設以外の場所で訓練を行っている（『施設外訓練』メンバー（利用者）もいます。

『施設外訓練』とは一般事業所（会社や飲食店など）の協力をいただき、訓練生として働く事をいい、現在は飲食店1店舗で1名が訓練を行っています。

この訓練はメンバーにとって一般就労する為の自信へと繋がり、地域との結びつきを実感できる場となっています。今回は訓練の様子やメンバー・受入先の方の「思い」をインタビュー形式で紹介します。



▶訓練の様子。チラシの準備や清掃など、お客様が気持ち良く食事出来る様働いています。

【訓練受入店舗】

「カレーハウス」
CoCo 壱番屋
太白区中田店

住所 仙台市太白区中田 6-29-7
TEL 022-306-6801



▶CoCo 壱番屋スタッフの
お一人です。



◆訓練生を受け入れたきっかけは？

（株）壱番屋の宗次顧問や宮崎取締役がボランティア活動等においてとても積極的な方で、会議などで話を聞いているうちに自分も何かできないか、地域・社会に貢献できる事はないかと思案中に「ぼこあぼこ」（精神障がいに関する相談窓口）を知り、連絡をして友愛作業所とのつながりができました。

◆訓練の中で気をつけている事は？

自分が思っている事や考えている事を相手に上手く伝えられているか、理解して協力いただけているか、言葉の伝え方は？など常に意識しながら話しています。

◆今後について

最初の頃は「訓練生だから」という意識がありましたが、慣れて来るとスタッフ同様に注意もできるようになりました。今後はいろいろな仕事を覚えていただき、働く事の楽しさ、やりがいをもっともっと感じてもらいたいです。ココ（CoCo 壱）で働けて良かったと思っただけの様、接していきたいと思えます。

訓練を受けて…「メンバーの声」

◆訓練を受けている中で感じることは？

従業員のみ皆さんが優しく、働きやすいです。また真面目で行動もテキパキしており、とても勉強になります。

◆気をつけていることは？

開店前までに窓拭きやタイル磨きなどの清掃を終えるように気をつけていますし、一つ一つの仕事を終えた後は報告して、次の仕事に取り組めるように心がけています。

◆訓練を受けてから変わったことは？

仕事をしっかり行うというメリハリのあるリズムができた事です。

◆今後の目標について

カレー屋さんも一日がんばると楽しいものです。病院のデイケアから友愛作業所に入ってきた時の様に、今度は友愛作業所から社会へ出る事が私の目標です。

名取南地域包括支援センター

介護予防教室



名取市社会福祉協議会が運営している『名取南地域包括支援センター』では、名取が丘公民館を会場に6月から1月にかけて月2回・計16回にわたり『介護予防教室』を開催しました。

2年目となる今年度は、ダンスや理学療法士によるストレッチ指導を取り入れ、まさに『介護を予防』する為の身体づくりにも力を入れました。また、塩釜・松島方面への移動予防教室や音楽家によるミニコンサートなど、心身のリフレッシュにも取り組みました。

『心も身体もはつらつ、元気に！』そんな『介護予防教室』の様子を写真で紹介いたします。



▲今年度力を入れた軽運動と玄米ダンス運動の様子。続ける事が力になります。



▲松島・塩釜方面への移動予防教室は一大イベント。皆さん大満足の様子です。

こころの健康

市民公開講座

今回で5回目となる『こころの健康市民公開講座』が11月17日、名取市文化会館中ホールを会場に開催されました。宮城県立精神医療センター・宮城県仙台保健福祉事務所・名取市・名取市社会福祉協議会が共催で実施している公開講座ですが、今回は『こころのつながりを求めて』というテーマで、講演や作業所（精神障がいの方が通所し訓練を行っている施設）の紹介が行われました。

また、会場では名取市友愛作業所をはじめ、近隣市町にある作業所で作られているお菓子や手芸小物の販売も行われ、たくさんの方で賑いました。

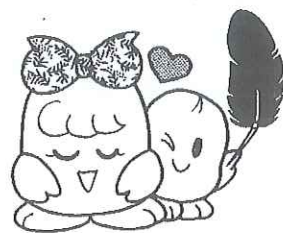
今回の様な講座は、多くの方がこころの健康への理解と知識を深めるきっかけとなります。そして地域の中で『こころのつながり』が生まれていきます。



▲作業所紹介のコーナーではメンバー（利用者）やスタッフが、各作業所のPRを行いました。▼



たくさんのご協力 ありがとうございました



10月から始まった赤い羽根共同募金運動、12月の歳末たすけあい募金運動、今年も多くの皆さまにご協力頂きありがとうございました。

赤い羽根募金は県全体でまとめられ、ボランティア団体、福祉施設などの支援に活用されます。一部は名取市社協へ配分され、「災害時に備えた体制整備や研修会の開催」「高齢者を支援する為の在宅サービス」「子どもたちへの福祉教育」など、市内の地域福祉発展の為の財源として活用されます。

歳末たすけあい募金は「みんなでささえあうあったかい地域づくり」というスローガンの下、年末年始を過ごす為の見舞金として市内の低所得世帯に配分されています。



▲福祉教育として実施している「キャップハンディ体験」。体験をとおり、やさしさ、とは何か考えてもらえる様な内容を心がけています。



▶災害に備えた準備として研修会や訓練を実施しています。



◀ひとり暮らしの高齢者を対象とした配食サービス（お弁当配達）活動も赤い羽根募金に支えられています。



**平成 22 年度
赤い羽根共同募金実績額
8,314,355円**

【戸別募金の地区内訳】

地 区	募 金 額
増 田	1,515,865円
増 田 西	1,439,028円
名 取 が 丘	640,500円
閑 上	726,500円
下 増 田	460,400円
館 腰	876,400円
愛 島	467,850円
高 館	549,500円
相 互 台	382,500円
ゆりが丘・みどり台	402,000円
那 智 が 丘	534,600円
戸 別 募 金 合 計	7,995,143円

【平成 22 年度募金種別内訳】

募金種別	募 金 額
戸 別 募 金	7,995,143円
職 域 募 金	176,259円
学 校 募 金	83,150円
窓 口 募 金 等	59,803円
合 計	8,314,355円

詳しくはこちらをご覧ください。



平成22年度 歳末たすけあい募金実績額 5,484,000円

【募金の配分（見舞金贈呈）内容】

◆要保護世帯（229世帯、744人）	3,549,000円
◆ひとり暮らし老人（56人）	560,000円
◆ねたきり老人（5人）	35,000円
◆ねたきり老人介護者（5人）	30,000円
◆交通海難労災遺児（2人）	20,000円
◆在宅重度心身障害児者（36人）	252,000円
◆在宅重度心身障害児者の介護者（27人）	162,000円
◆要保護児童の学用品（260人）	520,000円
◆施設入所者※無年金者（1人）	11,000円
◆長期入院者（3人）	33,000円
◆在宅療養者（12人）	132,000円
◆老人世帯（15世帯）	180,000円

配分金（見舞金）総額 5,484,000円

※金銭の他に、タオルなど多くの物品も寄せられました。

※上記すべての項目において、低所得世帯が対象となります。

【平成22年度募金種別内訳】

募金種別	募金額
戸別募金	5,341,277円
団体募金等	142,723円
合計	5,484,000円

【戸別募金の地区内訳】

地区	募金額
増田	1,043,990円
増田西	905,300円
名取が丘	473,300円
閑上	476,300円
下増田	300,520円
館腰	596,345円
愛島	310,722円
高館	341,300円
相互台	242,700円
ゆりが丘・みどり台	397,000円
那智が丘	253,800円
戸別募金合計	5,341,277円



▲各地区の民生委員協議会会長の皆さんです。

振り込め詐欺撲滅サポーター活動に 感謝状が贈られました

近年増加する振り込め詐欺から地域住民を守る為、宮城県岩沼警察署から委嘱を受けた名取市内の民生委員及び主任児童委員が、振り込め詐欺撲滅サポーターとして活動を行っています。

名取市民の被害件数は平成22年1月から6月までで5件（被害額は199万円）でしたが、7月以降、現在（H23年2月1日）まで被害者はおりませんでした。

振り込め詐欺に関する注意の呼び掛けを行ってきた岩沼警察署や撲滅サポーター（民生委員児童委員）の地道な努力の成果と言えます。今回、これまでの活動を称え岩沼警察署から民生委員児童委員へ感謝状が贈呈されました。

振り込め詐欺はいつ・誰が被害に遭つかわかりません。「自分は大丈夫」そう思っている方も家族や銀行員、警察官をよそおう電話に慌て、被害に遭ってしまうケースも少なくありません。

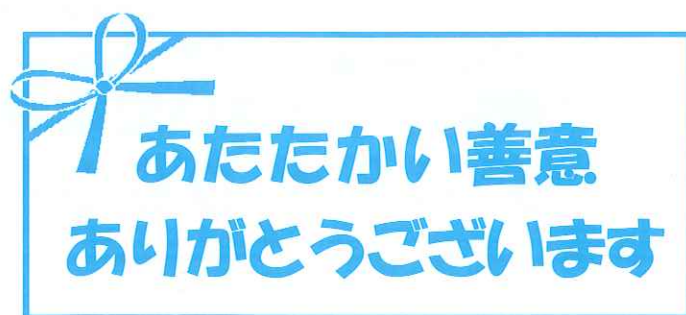
日頃から家族や友人など、身近な人たちと話題にし、被害に遭わない様みんなまで呼び掛け合いましょ。

社会福祉協議会に寄付をしていただいた
方々を掲載しました。

(平成22年9月1日

～平成23年1月31日の間)

善意の気持ちを大切に、みなさまに喜んで
いただけるような活用をさせていただきます。



現金の寄付

★平成22年8月31日までの寄付金は前回発行の「社協だより第66号」に掲載済みです。
(敬称略)

月 日	氏 名	金額 (円)
H22. 9. 13	第41回手倉田地区 納涼盆踊り祭り 実行委員会 実行委員長 渡邊 利男	22,000
9. 24	智福院 住職 亀井 光昭 (愛島)	4,584
10. 13	産直ネットワークなとり 代表 小関 綾子	1,050
10. 21	グラウンド・ゴルフ名取市協会	2,800
10. 22	塩手夏祭り実行委員会 実行委員長 板橋 栄一	7,107
11. 4	みちのくフリーマーケット協会 (増田西)	5,000
11. 16	みやぎ生協名取西店 秋まつり実行委員会	23,688
11. 18	増田西婦人会 会長 橋本 公子	13,400
11. 26	飯野坂南第3納税組合	6,390
12. 15	(有)エンゼル 代表取締役 細目 典夫 ※店内設置「善意銀行募金箱」	4,307

※その他、匿名希望の方から寄付金 (5件・564,176円) を頂きました。

～お知らせ～

本寄付金は、社会福祉法人に対する寄付として、所得税法第78条第2項第3号並びに法人税法第37条第4項第3号及び個人住民税に定める寄付金控除の対象 (※) となります。

※ご寄付していただきました日の翌年1月1日に居住している市町村が、寄付金控除団体として本会を条例指定している場合に限りです。

指定現金寄付の払い出し

※使いみちを指定のうえ、ご寄付いただいた分の払い出し内容です。

月 日	内 容	金額 (円)
H 2 2 . 1 2 . 2 4	歳末たすけあい見舞金	7 3 , 0 0 0

物品の寄付

(敬称略)

月 日	氏 名	物 品 名	払い出し先
H 2 2 . 9 . 8	下増田地区老人クラブ連合会 会長 浅野 竹雄	タオル 340枚	グループホームこもれびの家 グループホームもも太郎さん (笹生) グループホームおうじゅ 名取市下増田公民館
9 . 1 4	メガネの相沢 名取店	老眼鏡 クーポン 20組	市内高齢者
9 . 2 0	名取市食堂組合	天ぷらそば 120食 緑茶 120本	社会福祉法人愛の郷
9 . 2 7	名取理容女性部	雑巾 126本	名取市立愛島幼稚園 名取市立愛島小学校 名取市立館腰小学校
1 1 . 2 2	石川 恵 (増田)	紙おむつ 8袋 ハンドタオル 30枚	本郷デイサービスセンターふるさと 名取市立ゆりが丘小学校 名取市ゆりが丘児童センター
1 1 . 2 2	田村 俊夫 (名取が丘)	紙おむつ 64袋	特別養護老人ホームけやき 特別養護老人ホーム松陽苑
1 2 . 2	須藤 正蔵 (増田)	タオル 80枚	名取市立ゆりが丘小学校 名取市ゆりが丘児童センター
1 2 . 2 0	(株)久米設計東北支社 (仙台市)	タオル 30本	市内高齢者

※その他、匿名希望者の方から物品 (1件・下着等) を頂きました。

【理事】

役 職	氏 名	所属/区分
会 長	佐々木 秀 典	学識経験者
副会長	鈴 木 圭 一	学識経験者
副会長	荘 司 千鶴子	名取市ボランティア連絡会
常務理事	小山田 敏 夫	特別会員
	松 浦 美恵子	名取市民生委員児童委員協議会
	小野寺 清	名取市民生委員児童委員協議会
	○佐々木 哲 郎	名取市民生委員児童委員協議会
	鹿 又 信 夫	名取市行政区長会連合会
	渡 邊 敏 雄	名取市行政区長会連合会
	川 島 一	名取市行政区長会連合会
	洞 口 ミツヨ	名取市身体障害者福祉協会
	鈴 木 治 子	社会福祉法人 みのり会
	武 部 尚 子	特別会員
	倉 持 千恵子	特別会員
	佐 藤 宏 郎	学識経験者

【監事】

役 職	氏 名
監 事	佐 藤 勝 治
監 事	○越 河 いなみ

※理事・監事のみ氏名を掲載しております。

※○印は新任の役員

名取市社会福祉協議会

役員改選の報告

名取市社会福祉協議会には市内から選出された理事15名、監事2名、評議員35名の役員がおります。役員
の任期は2年で、平成22年10月22日から新役員が就任
しています。

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目
指し、役職員一同精一杯取り組んで参ります。

お知らせ

【活動内容】

運転ボランティアと配達ボランティアが二人一組となり、ひとりぐらしの高齢者宅へお弁当を届けます。(使用する車は社会福祉協議会の車両です)

【活動日時】

お弁当配達は毎週火・木曜日に実施しています。
ボランティアは3ヶ月に一度の打合せ会で自分が活動する日を選択します。
活動時間は10時30分の集合から12時30分位までと約2時間です。

【お問合せ】

名取市社会福祉協議会へお電話下さい。
詳しい内容はホームページでもご覧いただけます。
(☎ 022-384-6669)



お弁当配達のボランティアは現在約40名の方が活躍しています。声かけをしながらお弁当を配達する事で、ひとりぐらし高齢者の方と地域とのつながりを生む活動です。
まずは1日体験もできますので、どうぞお問合せ下さい。

ホームヘルパー 募集

指定居宅サービス事業所ほっとなとり(社会福祉法人名取市社会福祉協議会開設)の職員を募集します。

ご希望される方は、市販の履歴書に必要事項明記のうえ郵送して下さい。受付期間終了後、採用面接試験日の詳細についてお知らせいたします。

【資格要件及び採用予定人数、勤務要件】

①訪問(居宅)介護員及び訪問入浴介護員

介護福祉士または訪問(居宅)介護員2級修了以上で自動車の運転ができる方

◎1日8時間勤務できる方(週5日)・・・採用2名程度

◎1日6時間以上勤務できる方(週3日～4日)・・・採用2名程度

※勤務時間の希望についてはご相談下さい。

※市販の履歴書に必ず①写真《カラー写真》貼付 ②勤務可能な曜日・時間帯

③家族構成を記入の上お申し込み下さい。

【賃金】 時給800円以上(採用6ヶ月経過後)※職種により時給が異なります。

【応募締切】 平成23年3月9日(水)「必着」



【お問い合わせ、ご相談、応募先】

社会福祉法人 名取市社会福祉協議会

〒981-1292 名取市増田字柳田80番地 TEL 384-6669

<http://www.natorisyakyo.or.jp/>